

平成三十年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査

小学校第五学年 国語 調査票

注意

- 1 先生から「始め」の合図があるまでは、中を開けないでください。
- 2 調査票に地区番号、学校番号、組、出席番号、名前を書いてください。
- 3 解答用紙に地区番号、学校番号、組、出席番号を書いてください。
- 4 調査の時間は、四十分間です。
- 5 答えは、すべて解答用紙に記入してください。
- 6 問題 **1** は、音声を聞いて答える問題です。メモをとりながら聞きましょう。
- 7 終わったら、見直しましょう。
- 8 先生から「終わり」の合図があったら、書くのをやめてください。

地区番号	学校番号	組	出席番号	名前

**1** これから流れる音声を聞いて、あとの(1)から(4)までの各問題に答えましょう。

はるきくんの学級では、国語の授業で、安全を支えるくふうについて、調べたことをもとに自分の考えをまとめ、写真や資料を見せながら発表することになりました。

よりよい発表ができるように、これからグループの中で発表の練習をして、たがいにアドバイスをする活動を行います。はるきくんがいるグループには、他に、なつえさん、あきこさん、ゆきおくんがいます。今日の司会はなつえさんです。

それでは、あなたもグループの一員になったつもりで、メモをとりながら聞きましょう。音声は一回だけ流れます。合図があるまで、次のページを開いてはいけません。

### ○活動の目的

調べたことや自分の考えが伝わるように話の組み立てを考えて、資料を見せながら発表できているかどうか確かめよう。

### ○はるきくんの資料





(1) はるきくんが発表した内容をまとめたものとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 火事が起きても、燃え広がらないようにするためのくふうがあるので、落ち着いてひなんをしてほしい。
- イ 安全を支えるくふうは、鏡や鉄のとびらの他にも、校しやの中にたくさんあるので、さがしてみしてほしい。
- ウ 階段には、出合いがしらにぶつかるなどの事故を防ぐためのとびらがあるので、気を付けて見てほしい。
- エ ふだんから地しんに備えて、安全にひなんできるように、危険な場所を調べながら生活してほしい。

【話す・聞く能力】①

(2) あきこさんがはるきくんにアドバイスをしたこととして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 学校の中にある、安全を支えるくふうをもっと多く発表に加えること。
- イ きん急のときに、どのように行動すればよいかをもっと多く発表に加えること。
- ウ 調べた結果、どのようなことを考えたのかを発表に加えること。
- エ 学校以外の場所にある、安全を支えるくふうを発表に加えること。

【話す・聞く能力】②

(3) はるきくんが、グループでの話し合いをもとに、発表に付け足そうとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 校しゃの中には、安全を支えるくふうがたくさんあるけれど、大切なのは、日ごろからき険を予想して安全に生活できるように心がけておくことだと思つたこと。

イ 校しゃの中には、たくさんさんの安全を支えるくふうがあるため、わたしたちは、き険や災害さいがいなどから守られて毎日安心して生活することができていると思つたこと。

ウ 校しゃの中には、安全を支えるくふうがたくさんあり、その中には鏡のように別の目的としても役立つものがあることをみんなに知ってほしいと思つていること。

エ 校しゃの中には、ふだんの生活の安全を支えるくふうもあるけれど、きん急のときの安全を支えるくふうのほうがより大切だと思つていること。

【話す・聞く能力】③

(4) あなたが、他の人の発表を聞くとしたら、どのようなことに注意して聞きますか。次のアからエまでの中にはふさわしいものがいくつかあります。あなたの考えに最も近いものを一つ選び、記号で答えましょう。

ア 話し手の意見について、そのように考えた理由を正しく理解りかいできるように注意して聞く。

イ 話し手の考えと自分の考えとを比べ、似にている点やちがう点を聞き取るように注意して聞く。

ウ 話す速さや声の大きさが聞きやすいか、分かりやすい言葉で話しているかに注意して聞く。

エ 話し手の発表がいくつかの文で作られているか、正確せいかくに数えられるように注意して聞く。

【国語への関心・意欲・態度】④

2 次の(1)と(2)の——をつけた漢字の読みをひらがなで書きましよう。

(1) 金メダルを取るとい<sup>う</sup>念願<sup>ねんがん</sup>がかな<sup>う</sup>。

(2) 手作りの木はん<sup>もくはん</sup>を使<sup>つ</sup>て、年賀状<sup>ねんがじょう</sup>を刷<sup>し</sup>る。

【言語についての知識・理解・技能】⑤⑥

**3** 次の(1)と(2)の——をつけたカタカナの部分にあたる漢字を書きましよう。

(1) 理科の学習で、かんデンチのつなぎ方について調べた。

(2) 今日は、暑くもサムくもなく、気持ちのよい日だ。

**4** さやかさんは、国語の授業で次の【資料】を読み、調べたことや自分の経験をもとに考えたことをまとめることになりました。

左のページの【メモ】は、さやかさんがまとめたメモです。【資料】と【メモ】をもとに、あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

\*印の付いている言葉には、本文のあとに「注」があります。

### 【資料】

#### 「大江戸」ことも新聞

バイオミメティクスという言葉を知ったことがありますか。「バイオ」は生物や生命に関わる言葉で、「ミメティクス」は「似せること」、「まねること（もほう）」を意味する言葉です。つまり、バイオミメティクスとは、「生物をまねたもの」、「生物に学ぶこと」であり、学術的には「生物もほう」と訳されます。

\* 米国で発明されたナイロンは、バイオミメティクスの代表例です。軽くてじょうぶな衣服などの素材として利用されているナイロンは、カイコが作るきぬ糸をまねて作られたものです。

また日本でも、新幹線をより静かに走行させるために、音をたてないで飛ぶフクロウの羽の形や、すばやく飛ぶことのできるカワセミのくちばしの形など、鳥の体の持ちようをまねて、部品の開発が進められました。

【注】 米国…アメリカ合衆国のこと

(1) 【資料】の内容をまとめたものとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア バイオミメティクスがあまり有名ではないこと。

イ 米国でバイオミメティクスが発明されたこと。

ウ ナイロンと新幹線が生活には欠かせないこと。

エ 生物に学んで開発された素材や部品があること。

【必要な情報を正確に取り出す力】 ⑨

(2) 【資料】と【メモ】を結び付けて分かることとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 生物をまねたり、生物に学んだりすることで、人間やかん境にやさしい製品の開発が進んでいくこと。

イ 生物の体の持ちようには、新しい発明のヒントがたくさんあるため、生物を保護する必要があること。

ウ 生物にはたくさん種類の種類があり、特に鳥は羽やくちばしの形でたくさん種類の種類に分けられるということ。

エ 生物が作り出すものは、人間にとって役に立つものばかりなので、その持ちようをまねるとよいこと。

【比較・関連付けて読み取る力】 ⑩



バイオミメティクスでこれから起こる変化

今まで

これから

研究者

生物から学んだ研究は、それほど多くなかった。

生物をヒントにすることで、新しい物質を開発できそう。

会社

たくさんの費用をかけて、製品を開発してきた。

生物をヒントにすることで、低予算で製品を開発することができそう。

消費者

便利な生活を求める中で、たくさんのごみを出してきた。

生物をヒントにすることで、かん境にやさしい生活を送ることができそう。

〈まとめ〉

バイオミメティクスによって、人間の生活や社会が変わっていくだろう。

【資料】 【メモ】 …下村政嗣 編著「トコトンやさしいバイオミメティクスの本」を参考にして作成。

(3) 次の文章は、さやかさんが【資料】と【メモ】をもとに考えたことをまとめたものの一部です。

入る内容として最もふさわしいものを、あとのアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

産業の発てんは便利な社会を生み出しました。そして、これからは様々な新製品が生まれ、ますます便利な社会になっていくと思います。こうした中、

そのためにも、わたしたちはもっと生物や自然から多くのことを学ばなければならないと思いました。

ア 豊かなくらしを続けるためには、かん境のことよりも、たくさんのごみを出してでも、新しい発明をしていかなければならないと思います。

イ 身の回りの生物をヒントにして新しい製品を生み出すためには、たくさんの方々の費用と時間をかけて開発していかなければならないと思います。

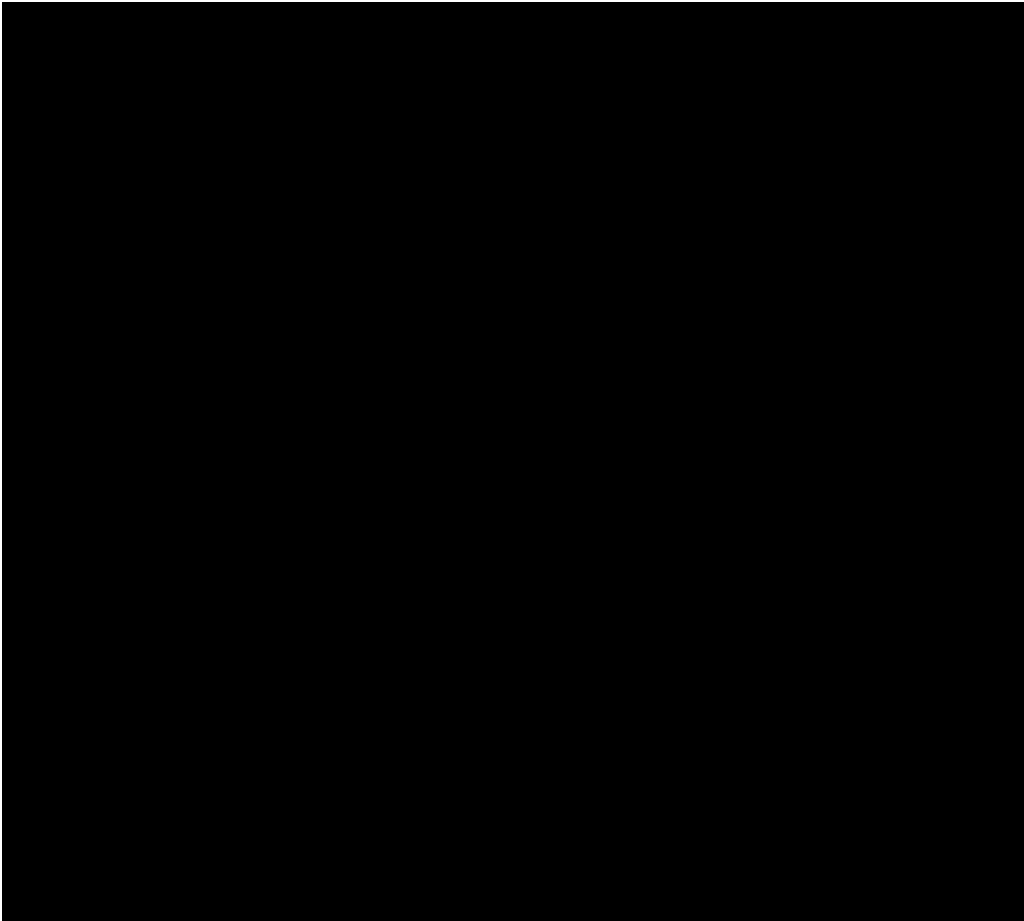
ウ バイオミメティクスを活用することで、みんながかん境のことを考えるようになれば、豊かなくらしを続けることができるようになると思います。

エ バイオミメティクスにたよりすぎると、生物や自然に大きな負担をかけてしまうので、生物や自然を保護していく必要があると思います。

【意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力】 ⑪

5 次の文章を読んで、あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

中学校一年生の女子「こころ」は、美術部びじゅくぶに入っている。ある日の放課後、「こころ」はスケッチブックを持って校庭に出た。



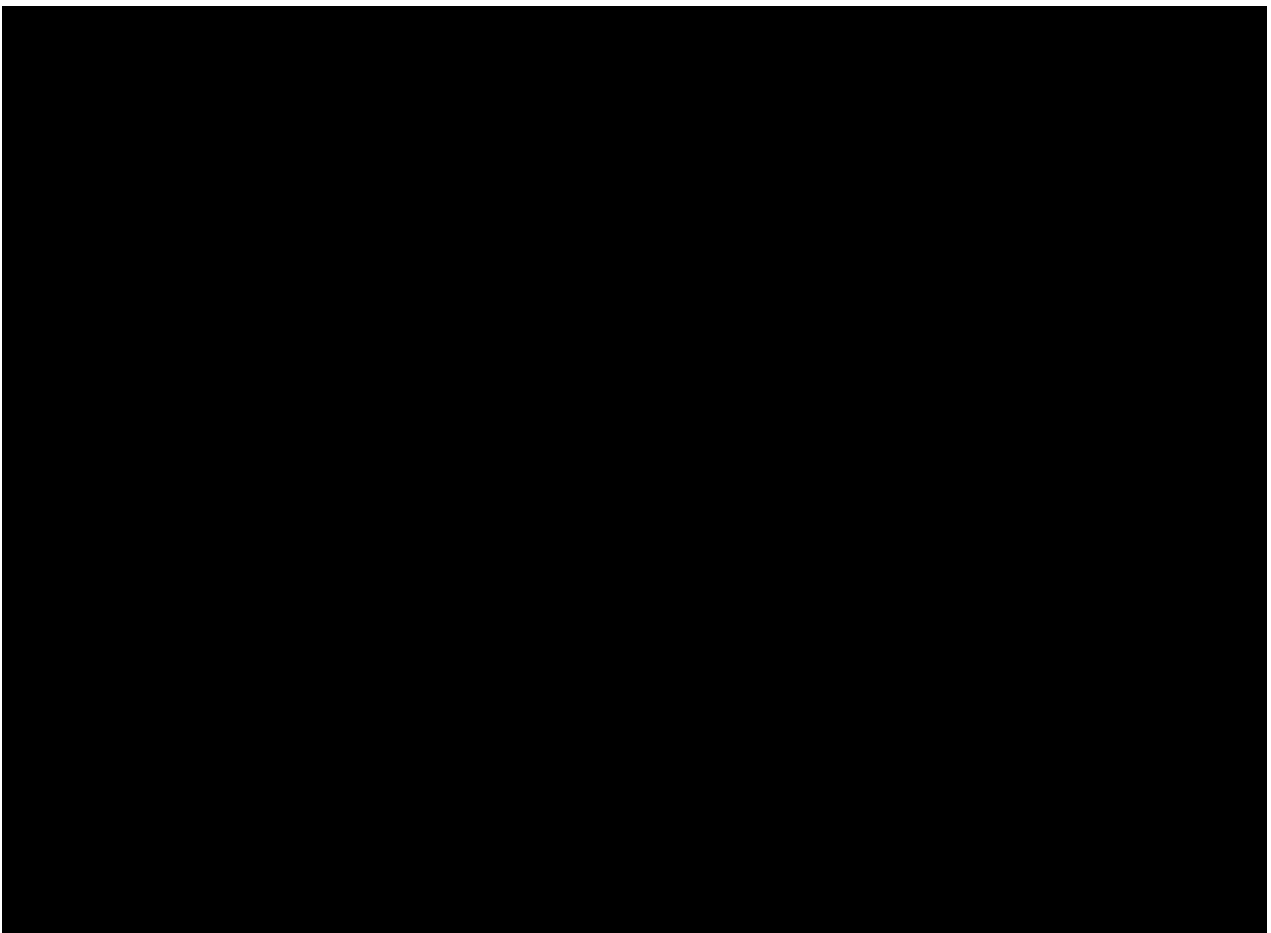
- (1) この場面の「こころ」について説明したものとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。
- ア 小鳥のさえずりや風が運んでくる香りかおに包まれて昼寝をしていると、とつ然、走ってきた野球部の男子に起こされる。
- イ 自分も自然の一部となっていることを感じながら絵をかいていると、とつ然、野球のボールが落ちてきて現実げんじつにもどされる。
- ウ 光かがやいて見えた野球部の練習風景の絵をかくことにむちゅうになつていると、とつ然、野球のボールが飛んできておどろく。
- エ 自然のままの自分で絵をかくことを楽しんでいると、とつ然、野球部にじゃまをされ、不満を言う。

【読む能力】 ⑫

- (2) 「その光ひかりが夜明けのように少しずつ広がります。」とありますが、この表現ひょうげんについての説明として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。
- ア まぶたを開いたときに、少しずつ光が入り、風景が見え始めた様子を、たとえを用いて表現している。
- イ 自然の光に包まれて絵をかく喜びを感じながら、上手にかこうとあせている様子を、言葉をくり返して表現している。
- ウ 自分の心で感じたままをかくというこだわりからぬけ出そうとしている様子を、慣用語かんようごを用いて表現している。
- エ 光に興奮する気持ちを抑えて静かに絵をかこうとする様子を、光と暗闇という反対の言葉で表現している。

【読む能力】 ⑬

(横沢彰「ナイスキャッチ！」による)



- (3) 「その時になってやっと、痛みを感じているのは両手だということに、こころは気づいた。」とありますが、ここから読み取れる「こころ」の様子として最もふさわしいものを、次のアからエまでのの中から一つ選び、記号で答えましょう。
- ア なぜボールを取ることができたのか分からなかったが、無事にキャッチすることができて喜んでいる様子。
- イ 哲平が何を言っているのか理解できていなかったが、自分のすごさが分かってもらえて安心している様子。
- ウ 両手の痛みの原因げんいんが分かっていなかったが、飛んできた野球のボールのせいだと分かり、はらを立てている様子。
- エ 自分に何が起こったのか理解できていなかったが、時間がたつとともに少しずつ落ち着きを取りもどしている様子。

【読む能力】⑭

**6** さとしくんの学級では、自分が活動している委員会についてしようかいする文章を書き、四年生に伝えることになりました。保健委員のさとしくんは、保健委員会でよびかけていることについて書こうとしています。次の【ワークシート】と【ポスター】をもとに、あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

【ワークシート】

○書こうとしていること

・保健委員会は、みんなが健康な生活を送るための仕事をしている。

・今月は「手あらい運動」をよびかけている。

○内容のまとめり

一 〔保健委員会の仕事のしようかい〕

二 〔手あらいの大切さ〕

三 〔せきやくしゃみをするときの注意〕

四 〔かぜやインフルエンザの予防〕

【ポスター】

### 正しい手のあらい方

手あらいの前につめは短く切っておきましょう。

① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

② 手のこうをのばすようにこすります。

③ 指先・つめの間をよくこすります。

④ 指の間をあらいます。

⑤ 親指と手のひらをねじりあらいします。

⑥ 手首もわずれずにあらいます。

石けんであらい終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよくふき取ってかわかします。

(1) 次の文は、三の下書きの一部です。さとしくんは、この文章の中に、【ポスター】の内容を文にして付け加えようと考えました。【ポスター】の内容を付け加えるところとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

【ア】かぜやインフルエンザを予防するためには、正しい手あらいをすることがとても大切です。【イ】ところで、みなさんは、正しい手のあらい方を知っていますか。【ウ】正しい手あらいをすることで病原体を部屋に持ちこんだり、自分の体の中に取りこんでしまったりするのを防ぐことができます。【エ】つまり、正しい手あらいは、みんなのためにもなり、自分自身のためにもなるのです。

【書く能力】⑮

(2) 次の文は、【三】の下書きの一部です。さとしくんは、この一文が長いことに気付いたので、二つの文に分けることにしました。「しかし、」でつながるように二つの文に分けたとき、一文めの終わりをどのように書き直せばよいでしょうか。書き直した一文めの終わりの六文字を書きましよう。  
なお、、や。も字数に数えます。

ふだんからせきやくしゃみが出るときは、マスクをすることが大切で、マスクがない場合は、顔を他の人に向けないようにして、ティッシュやハンカチなどで口と鼻をおおいましよう。

【書く能力】⑯

(3) あなたが、自分が活動している委員会についてしようかいする文章を書くとしたら、どのようなことに気を付けて書きますか。次の【ア】から【エ】までの中にはふさわしいものがいくつかありますが、あなたの考えに最も近いものを一つ選び、記号で答えましよう。

- ア 他の委員会の活動とのちがいが分かるように、複数の委員会の活動を比べて書くなど、事例の示し方に気を付けて書く。
- イ 何をもとに自分がそう思ったのかが分かるように、理由や事例を挙げて書くなど、だん落とだん落との関係に気を付けて書く。
- ウ 自分の考えを正しく伝えるために、他の人の文章をそのまま写して、自分が書いたようになってくるかに気を付けて書く。
- エ 読み手に関心をもって読んでもらうために、できるだけ最新的话题を取り入れるなど、情報の集め方に気を付けて書く。

【国語への関心・意欲・態度】⑰

**7** 次の文の主語にあたる部分とじゅつ語にあたる部分を、次のアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えましょう。

ア わたしの  
イ かいた  
ウ 絵が  
エ コンクールで  
オ 金賞に  
カ 選ばれた。

【言語についての知識・理解・技能】  
⑩

**8** 次の(1)と(2)について、——をつけた言葉がくわしく説明している部分を、あとのアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えましょう。

(1) 昨年、上野動物園でパンダの赤ちゃんが生まれた。

ア 昨年                   イ 上野動物園で                   ウ 赤ちゃんが                   エ 生まれた

(2) 毎朝、ぼくはていねいに歯をみがく。

ア ぼくは                   イ ていねいに                   ウ 歯を                   エ みがく

【言語についての知識・理解・技能】  
⑪  
⑫





古紙配合率70%再生紙を使用しています